

ルニ反シ製鹽禁止ハ多數從業者ヲシテ糊口ノ途ヲ失ハシムルモノトシ禁止告示ノ取消又ハ其ノ延期ヲ請願セムコトヲ謀議シ從業者ハ煎熬ヲ中止シ一時不穩ノ狀ヲ見ルニ至リ長崎縣今福ノ機械製鹽製造者ハ其ノ事業ノ繼續ヲ希望シ同地附近ノ炭礦業者亦其ノ利害關係上ヨリ製鹽存置ヲ出願スルアリシヲ以テ何レモ各地ノ實狀ヲ查察シ之カ存廢ヲ決定シタリ  
尙前記鹽田ノ存廢ニ關シ陳情請願アリシ外法ノ施行上ニ付或ハ製鹽禁止ニ伴ヒ苦汁ノ製造ヲ爲ス能ハサルニ至リシ損失ニ對シ補償ヲ要求スルアリ或ハ又製鹽從業者カ廢業ノ結果其ノ郷里ニ歸還スルノ已ムヲ得サルニ至リシ爲メ相當交付金ノ給付ヲ哀求スルアリシモ此等希望ニ對シテハ交付金給付ノ道ナキコトヲ懇示シ尙法ノ適用上ニ關シ情ヲ懇へ請願スルモノアリシモ之亦一々解説ヲ與へ法ノ適用ヲ明示シタリ就中德島縣見能林ノ如キハ製鹽承繼ニ關シ衆議院ニモ同一請願ヲ爲シ同院ヨリ參考トシテ送付スルニ至リタリ

#### 第四款 整理ノ執行

製鹽地整理計畫調査ハ專賣局長官濱口雄幸之ニ當リ收納部長佃一誠專ラ之カ調査ヲ爲シタリシカ製鹽地整理法ノ發布セララルヤ之ニ關スル一切ノ事務ハ專賣局ニ於テ掌理スルコトトシ左ノ如ク達セラレタリ

大藏大臣達祕第一一四號 (明治四十三年四月十九日)

明治四十三年法律第四十八號ニ依ル交付金ニ關スル一切ノ事務ハ其ノ局ニ於テ掌理スル儀ト心得ヘシ

專賣局ハ右令達ニ基キ收納部鹽腦收納課ニ臨時製鹽地整理掛ヲ置キ之ヲ主掌セシメ交付金ノ仕拂ニ關シテハ計理部庶務課ヲシテ取扱ハシムルコトト爲シタリ

專賣局長官達祕第二〇三一號 (明治四十三年四月二十五日)

製鹽地整理ニ關スル臨時事務ヲ取扱ハシムル爲メ收納部鹽腦收納課ニ臨時製鹽地整理掛ヲ置ク

交付金ノ仕拂ニ關スル事務ハ計理部庶務課ノ主管トス

而シテ地方ニ於ケル整理事務ニ在リテハ專賣支局ヲシテ各管内ニ於ケル實務ヲ分掌セシムルコトトシタリ

專賣局長官達祕第二〇三二號 (明治四十三年四月二十五日)

製鹽地整理ニ關スル明治四十三年法律第四十八號ニ依ル交付金ニ關スル事務ハ別ニ定ムルトコロノ規程ニ從ヒ其ノ支局ニ於テ分掌セシム

交付金ノ調査ニ關シテハ事業課其ノ仕拂ニ關シテハ庶務課ヲシテ處理セシムヘシ

製鹽地整理ハ異常ノ事務ニ屬シ其ノ調査ハ最複雑ニ且取扱上最公平ト正確トヲ要シ法定金額ノ範圍内ニ於テ豫定段別ノ整理ヲ遂行シ圓滿ニ價額ノ決定ヲ了シテ從業者ノ失業及禁止地ノ荒廢等ヲ免レシムルコトヲ期セサルヘカラスシテ容易ノ事業ニ非サルヲ以テ之ヲ一般專賣事務ト區別シ特ニ支局長ヲシテ直接之カ調査ニ當ラシムルコトトシ各管内ニ於テ調査區域ヲ定メ各區ニ二名乃至三名ノ調査員ヲ指命シ支局長ヲ補助シ整理物件ノ調査ニ從事セシムルコトトシタリ

調査物件ハ土地建物其ノ他製鹽設備器具器械等其ノ關係スル所頗ル汎ク之ニ關スル調査ニ在リテハ特殊ノ技能アリ鑑識アレモノニ非サレハ精細調査ヲ盡シ難キモノアルニ依リ調査物件ノ標準價格又ハ參考ニ要スル調査資料等ハ必要ニ應シ相當技能アル者ヲ選定シ調査ノ囑託ヲ爲サシムルコトトシ之カ選定ニ在リテハ事地方行政上直接ノ關係アルノミナラス是等適材ハ府縣知事ノ推舉ニ賴ルヲ可トシ各專賣支局長ヲシテ左記取扱ニ依リ囑託ヲ爲サシメタリ



專賣局長官達祕第二五六一號（明治四十三年五月二十四日）

製鹽地整理事務取扱心得ニ依ル調査物件ノ標準價格調査並豫備調査ノ囑託方左ノ通心得ヘシ

一 囑託ハ左記辭令ノ形式ニ據リ專賣支局長限攝行スルコトヲ得

官 職 氏 名

製鹽地整理ニ關スル調査ヲ囑託ス

明治 年 月 日

專 賣 局

二 囑託セムトスル者カ官吏ノ身分ヲ有スルトキハ豫メ其ノ所屬長官ノ同意ヲ得ルコトヲ

要ス

三 囑託ヲ攝行シタルトキハ官職氏名及年月日ヲ直ニ申報スヘシ

四 囑託シタル者ニ對シテハ調査終了ノ後ニ於テ其ノ調査ノ輕重難易ヲ斟酌シ一人百圓以

内ノ範圍ヲ以テ豫メ稟議ノ上官吏ニ在リテハ慰勞金ヲ又官吏以外ノ者ニ在リテハ謝金

ヲ支給スルコトヲ得

交付金ヲ下付スヘキ物件ノ價格ハ之ヲ鑑定ニ付スルコトトナレルヲ以テ其ノ鑑定人ノ選定ハ各

專賣支局ニ於テ調査員ニ指命シタル吏員以外ノ專賣官吏二名ノ外ニ稅務官吏一名公吏又ハ地方

名望家一名實業家一名都合五人ヲ以テ一組トシ各調査區域毎ニ豫選ニ稟議セシメ本局ニ於テ詮

考ノ上決定スルコトト爲シ其ノ手當及旅費ノ支給ニ關シ左ノ規定ヲ爲シタリ

大藏省令第三十六號（明治四十三年八月一日）

明治四十三年法律第四十八號ニ依ル鑑定人ノ手當及旅費左ノ通相定ム





シムルト共ニ禁止後ニ於ケル土地ノ利用、從業者ノ轉業等ニ關シ相當ノ注意ヲ爲サシムルノ要アルニ依リ大藏大臣ハ地方長官ニ對シ之ニ關スル訓辭ヲ爲シ專賣支局長ハ直接關係者ニ折衝シ調査ノ任ニ當ルヘキヲ以テ整理ノ趣旨ヨリ執行ノ方針等ハ十分ニ會得セシムルノ必要アルニ依リ大藏大臣ハ專賣支局長ニ對シ實行上ニ關スル詳細ナル心得ヲ訓達シ施行上遺算ナカラムコトヲ期シタリ

斯クシテ製鹽地整理ニ關スル施行諸規則ヲ內示シ整理ノ方針ヲ指示シタルモ調査實行ニ關スル具體的の方策ニ付テハ別ニ專賣支局長ヲシテ準據セシムヘキ心得方ヲ明示シ整理ノ圓滿ナル施行ヲ期スルノ切要ナルヲ認メ專賣局長官ハ特ニ製鹽地整理事務取扱心得ヲ訓示シタリ

專賣局長官達祕第二四〇四號 (明治四十三年五月十日)

#### 製鹽地整理事務取扱心得

#### 八 總則

- 一 製鹽地整理事務ハ支局長專ラ其ノ局ニ當リ慎重ニ調査ヲ爲スヘシ
- 二 目錄用紙ハ可成速ニ當該關係者ニ配付シ遲滞ナク提出セシメ調査上ノ便ヲ圖ルヘシ申請書用紙ハ九月中ニ當該關係者ニ配付スヘシ
- 三 目錄ニ記入スヘキ事項ハ洩レナク記入セシメ申請書提出ニ至リ目錄記載事項以外ニ増加スルカ如キコトナカラシムル様注意スヘシ
- 四 目錄及申請書ハ成ルヘク速ニ提出セシメ調査進行ノ便宜ヲ圖ルヘシ
- 五 調書ノ記入ハ楷書又ハ行書ニテ明瞭ニ記入スヘシ
- 六 實地調査價額鑑定其ノ他製鹽地整理事務施行方ニ關シ外部ニ於テ物議アルトキハ事態ニ應シ速ニ具狀申報スヘシ

準備

七 調査物件ノ標準價格調査竝豫備調査ヲ爲スニ際シテハ必要ニ應シ府縣廳ニ交渉シ相當技能アル者ヲ選定シテ其ノ意見ヲ徵シ又ハ調査ノ囑託ヲ爲スコトヲ得  
前項ノ囑託ハ明治四十三年度ニ於テハ左記府縣ニ付一府縣二人以内ニテ必要ノ人員ヲ選定シ手當一人百圓以内ノ範圍ヲ以テ囑託ノ手續ヲ爲スコトヲ得

- 一 京 都
- 二 神奈川
- 三 長 崎
- 四 新 潟
- 五 千 葉
- 六 茨 城
- 七 三 重
- 八 愛 知
- 九 靜 岡
- 十 宮 城
- 十一 福 島
- 十二 巖 手
- 十三 青 森
- 十四 山 形
- 十五 福 井
- 十六 石 川
- 十七 和 歌 山
- 十八 愛 媛
- 十九 高 知
- 二十 福 岡
- 二十一 大 分
- 二十二 佐 賀
- 二十三 熊 本
- 二十四 宮 崎
- 二十五 鹿 兒 島

八 支局長ハ歸局後直ニ關係出張所長ヲ召集シ整理事務ニ關シ方針ヲ指示シ且支局直轄及出張所所屬區域毎ニ一二箇村ヲ選定シ實地調査ヲ爲シ主トシテ標準價格ノ評決ニ資スルト共ニ調査ノ順序方法竝調査資料等ニ付研究ヲ爲スヘシ

九 標準價格ヲ決定スル際囑託員アルトキハ之ト打合ヲ爲シ熟議ヲ遂クヘシ若實地踏查ノ必要アルトキハ實地ニ就キ商議スヘシ

十 製鹽地ノ標準價格ハ法律第三條ヲ適用シ得ラレサル土地ノ價格ノ標準ト爲スヘキモノニシテ其ノ標準地ハ法第三條ヲ適用スヘキ類地ヨリ選定スヘシ

十一 標準價格評決書中禁止前ノ價格ハ上中下ニ區分セルモ此ノ三階級ニ限定セル趣旨ニ非サルヲ以テ實際ノ調査ニ際シテハ之ヲ標準トシテ適當ニ相當價格ヲ見積ルヘシ

十二 標準價格決定ニ付テハ支局管内各地ノ權衡ヲ失セサル様特ニ注意スヘシ

十三 法律第一條第四項ノ廢止ノ認定ハ當事者ニ重大ノ利害關係ヲ有スルヲ以テ左記ノ標準



ニ依リ特ニ慎重ニ之カ調査ヲ爲シ其ノ廢止シタルモノト認メタル關係者ニハ目錄及交付金下付申請書用紙ヲ配付セサルコトニ取扱フヘシ

一 鹽專賣法施行後嘗テ一回モ製造ヲ爲シタルコトナキモノハ其ノ事由ノ如何ニ拘ラス總テ廢止シタルモノト認ムルコト

二 鹽專賣法施行後製造ヲ爲シタルコトアルモ明治四十二年十二月ノ現状ニ於テ其ノ廢止ノ事實ヲ確認シ得ルモノハ廢止シタルモノトシテ取扱フコト

三 鹽專賣法施行後製造ヲ爲シタル製造者カ近年製造ヲ爲ササルニ拘ラス廢止ノ手續ヲ爲サス繼續製造ノ意思アルコトヲ主張スル場合ニ於テ製鹽地建物設備器具器械ノ現狀亦廢止ノ事實ヲ確認シ難キモノノ如キハ廢止シタルモノト認メサルハ勿論

(イ) 鹽田製鹽者ニシテ

(1) 製鹽地ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモノノ如キハ建物設備器具器械ヲ所有スルモ廢止シタルモノト認ムルコト

(2) 製鹽地及煎熬用主要物件ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモノノ如キハ建物設備其ノ他ノ器具器械ヲ所有スルモ廢止シタルモノト認ムルコト

(3) 建物設備等ヲ讓渡又ハ毀滅スルモ製鹽地及煎熬用主要物件ヲ所有スルモノノ如キハ廢止シタルモノト認メサルコト

(4) 煎熬用主要物件ヲ讓渡又ハ毀滅スルモ製鹽地其ノ他ノ物件ヲ所有スルモノノ如キハ廢止ト認ムヘカラサルコト

(5) 製鹽地又ハ製鹽地ト建物トヲ所有シ其ノ他ノ物件ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモノノ

如キハ廢止シタルモノト認ムヘキコト

(ロ) 鹽田以外ノ製鹽ニ在リテハ煎熬用主要物件ヲ所有スルトキハ他ノ物件ヲ讓渡又ハ

毀滅スルモ廢止ト認ムヘカラサルコト

(ハ) 製鹽地建物設備器具器械ヲ全然所有セサルニ至リタルモノノ如キハ廢止シタルモノト認ムヘキコト

(ニ) 製鹽地建物設備器具器械ノ一部分ヲ讓渡又ハ毀滅シタルモ尙各其ノ主要部分ヲ所

有スルモノノ如キハ廢止シタルモノト認ムヘカラサルコト

豫備調査

十五 豫備調査ハ調査區域内各地ノ權衡ヲ失ハサル爲同一人ヲシテ區域内ヲ通シ調査セシム

ヘシ尙調査上偏頗ナキヲ期スル爲少クトモ二人以上ヲ一組ト爲スヘシ

十六 豫備調査ハ周到遺漏ナキコトヲ期シ本調査ニ臨ミテハ異動アリタルモノニ付調査スレ

ハ可ナル様努メテ綿密ニ調査スヘシ

十七 郵便ニテ提出シタル目錄中訂正ヲ要スルモノアリタルトキハ事ニ害ナキ限ハ其ノ儘受

理シ實地調査等ノ際便宜訂正セシムヘシ

十八 鹹水賣渡數量賣上代金及賣渡先等ニ付テハ法定ノ帳簿ニ依リ之ヲ調査シ若法定ノ帳簿

ナキトキハ之ニ代ハルヘキ帳簿書類ニ依リ之ヲ調査スヘシ若全然書類ナキトキハ交付

金ヲ下付セス

十九 數製鹽地ヲ併セ法第三條ニ依リ價額ヲ算出シタル場合ニ在リテハ其ノ各製鹽地ノ價額

ハ段別ニ依リ按分算定スルコトヲ原則トシ若段別ニ依リ難キ事情アリト認ムルトキハ

實際ニ應シ適宜算定スヘシ



- 二十 交付金ヲ下付スヘキ物件ノ見積價格又ハ禁止後見込價格ハ其ノ所有者ノ主觀的事情ニ據ラスシテ其ノ物件ノ客觀的價格ニ從ヒ計算調査スヘシ從テ土地ノ利用ニ就テモ所有者ノ意向又ハ其ノ經濟的事情ニ拘ラス其ノ土地及附近ノ事情ニ從ヒ最適當ト認ムル利用方ヲ調査スヘシ
- 二十一 禁止後ニ於ケル土地ノ利用ニ就テハ全部トシテ利用見込ナキモ一部利用ノ見込アルモノニ在リテハ其ノ一部分ヲ分割シ適宜利用ノ見込ヲ立ツヘシ
- 二十二 土地ノ禁止後ニ於ケル見込價額ハ其ノ儘利用トシテノ差額ト加工利用トシテノ差額トヲ比較シ差額ノ少キモノヲ採ルヘシ鑑定ノ場合ニ於テモ必要アルトキハ此ノ例ニ準シ兩様ノ鑑定ヲ爲サシムヘシ
- 二十三 建物設備器具器械等ノ價格ハ賣買ノ實例アリテ其ノ實例カ特別ノ事情ニ基カサルモノナルトキハ其ノ實例ニ據リ若實例ナキトキハ鹽生產費調査方法ニ準シ其ノ新設費又ハ新調費ト保存期間等ヨリ見積計算スヘシ
- 二十四 建物設備器具器械ノ見積價格ハ製鹽禁止前同業者間ニ賣買スル價格ニ據リ禁止後見込價格ハ製鹽以外ノ用途ニ使用スル目的ニテ賣買スル價格ニ據ルヘシ尤禁止後尙他ノ製鹽ニ供用シ得ヘキ場合ニハ其ノ價格ニ據ル等實際ノ狀態ニ應スヘキハ勿論ナリ
- 二十五 禁止後他ノ用途ニ使用シ得ヘキ見込ノモノハ可成有利ニ使用セシメ得ル様盡力シ禁止後見込價額ハ之ニ依リ計算スヘシ
- 二十六 豫備調査ニ際シテハ禁止ノ爲見越製造ヲ爲スカ如キコトナカラシムル様留意スヘシ
- 二十七 鹹水製造者ニ對シテハ禁止ノ日迄ニ鹽製造者ニ賣渡ヲ爲サシムル様注意ヲ爲スヘシ若禁止ノ日迄ニ賣渡ヲ了セサルトキハ禁止後成ルヘク速ニ賣渡ヲ了セシムヘシ

二十八 鹽製造者ニ對シテモ成ルヘク鹹水ノ持越ヲ爲サシメサルコトニ注意スヘシ若製鹽ヲ了セサル場合ニハ成ルヘク短期間ニ製鹽ノ承認ヲ爲スヘシ

本調査

二十九 本調査ハ支局長自ラ之ニ當ルヘキハ勿論ナルモ支局直轄ニ在リテハ事業課長出張所ニ在リテハ出張所長等ヲシテ補助セシムルモ妨ナシ

三十 申請書記載ノ價額ニシテ不當ナル記入アルモノハ計算ノ基礎ニ付詳細ナル説明ヲ爲サシメ其ノ當否ヲ勘按審査スヘシ

三十一 申請書ニ據リ算出シタル交付金額ト豫備調査ノ交付金額ト符合スル場合又ハ前者カ後者ヨリ低キ場合ニ於テ豫備調査後變動ナシト認ムルトキハ本調査ヲ省略スルモ妨ナシ尤豫備調査ヲ不完全ナリト認ムルトキハ更ニ實際ニ就キ調査スヘシ

三十二 本調査結了シタルトキハ誤記違算ナキヤ否ヲ審査シ交付金額ノ算出ヲ爲スヘシ

協議

三十三 法第六條第二項ノ協議ハ支局長自ラ之ニ當ラサル場合ハ支局直轄ノ分ハ事業課長出張所ノ分ハ出張所長ヲシテ之ニ當ラシムヘシ若容易ニ協議調ヒ難キモノニ在リテハ支局長必ス自ラ協議ヲ爲スヘシ

三十四 法第六條第二項ノ協議ハ成ルヘク本調査ノ際現場ニ於テ之ヲ爲スヘシ

鑑定

三十五 鑑定人ハ本調査ニ著手前豫選スヘシ

三十六 鑑定人ハ凡左ノ區分ニ依リ豫選スヘシ

專賣官吏(當該調査官吏ヲ除ク)

二人



稅務官吏

一人

公吏又ハ地方名望家

一人

實業者

一人

若利用加工等ニ關シ特ニ必要アルトキハ農業家、水産家、其ノ他専門家一人ヲ加ヘ前記ノ中專賣官吏以外ノ者ヨリ相當人員ヲ差引クヘシ

三十七

鑑定人選定稟申ノ際ニハ專賣官吏以外ノ者ニ在リテハ前項ノ區分毎ニ同數ノ豫備員ヲ豫選シ稟請スヘシ

三十八

鑑定カ調査價額以上ニ出テマルトキハ鑑定人ニ對シ再考ヲ求ムヘシ若當初ノ鑑定ヲ更訂セサルカ又ハ更訂スルモ尙調査價額以上ニ出ルモノアルトキハ支局長ハ之ニ對シ意見ヲ附シ稟申スヘシ

三十九

鑑定ニ付スヘキ物件ニ在リテハ其ノ物件ノ部分數量等ニ注意シ交付金ノ下付ヲ要セサル物件マテ鑑定ニ付スルカ如キコトナキ様慎重ニ調査スヘシ

四十

土地ノ鑑定ハ本調査ノ際鑑定人ヲシテ調査員ニ同行鑑定セシムヘシ  
整理事務ニ關スル法規ノ適用ニ付テハ多樣ナル製鹽地ニ對シ疑義頗ル多ク之カ解説ヲ要スルモノ多キヲ以テ各支局ニ於ケル取扱ヲシテ一定セシメムコトヲ期シ細大トナク一々説明ヲ附シ更

ニ製鹽地整理事務取扱方注意事項トシテ之ヲ指示シタリ

製鹽地整理事務取扱方注意事項(省略) 製鹽地整理事  
蹟報告參看

交付金ノ下付ニ關スル法令ノ規定ハ普通ノ状態ヲ基礎トシ多クノ例外ヲ參酌シテ制定シタルモノナルヲ以テ實地調査ノ進行ニ伴ヒ幾多稀有ノ状態ヲ現出スルコト少カラスシテ法令ノ適用上疑ヲ生スルノミナラス異例ノ場合ニ在リテハ適用上權衡ヲ失フカ如キ嫌アルアリ此等ハ一々本

局ニ於テ取扱方ヲ決定シ當該支局ニ指示スルト同時ニ各支局ニ通牒シ之カ適用ニ付宜シキヲ失ハサルコトヲ期シタリ殊ニ規定ノ精神ニ省ミ之カ解釋ヲ決定スルノ必要アルモノニアリテハ特ニ省議ヲ以テ之カ解釋ヲ決シ其ノ適用ヲ緩和シタリ

施行細則中其ノ解釋ニ付省議ヲ以テ決定シタル事項左ノ如シ

一 施行規則中第三條ノ製鹽地及第四條ノ建物ニハ左ノ土地又ハ建物ヲ包含スルモノト解スヘキコト(明治四十三年七月七日決定)

一 採鹹地及之ト接近セル地區内ニ在ル鹹水溜ノ建物

二 採鹹地及之ト接近セル地區内ニ在ル鹹水貯藏用容器置場ノ敷地及其ノ建物

三 煎熬場ト同一構内又ハ之ニ準スヘキ場所採鹹地及之ト接近セル地區ヲ含ムニ於ケル鹹砂貯藏場ノ敷地及其ノ建物

四 鹹泉井ノ上家及海水直煮製鹽ニ於ケル海水汲揚場ノ上家

一 施行規則中第九條第二號ニ交付金下付決定前トアルハ左ノ如ク解釋スルコト(明治四十三年十一月一日決定)

一 明治四十三年大藏省令第二十號第九條第二號中交付金下付決定前トアルハ交付金ヲ下付スヘキ物件ノ價額決定前即チ鑑定ニ付スヘキ場合ニ在リテハ同第十四條ニ據ル決定前ヲ、協議ニ依ル場合ニ在リテハ協議ヲ調ヘタル日ノ以前ヲ謂フモノトス

明治四十四年度整理ニ著手セムトスルヤ書類ノ作成又ハ記入等ニ關シ前年ノ實蹟ニ照シ之カ省略ヲ便トシ省議ヲ決定シタル事項左ノ如シ

一 施行規則中附屬様式交付金下付申請書ハ左ノ如ク其ノ作成ヲ省略スルコト(明治四十四年四月二十七日決定)



一 明治四十三年大藏省令第二十號附屬樣式中左記事項ハ取扱上特ニ必要ヲ認メタル場合ノ外ハ記載ヲ省略スルコトヲ得

第四號樣式中製鹽地所有者住所氏名欄及數量欄

第五號樣式ノ一中地價欄

第五號樣式ノ二

第六號樣式中建設年月、建設費及坪當單價ノ各欄

第七號樣式中新調又ハ購入年月、新調又ハ購入費、保存期間及單價ノ各欄

二 第四號樣式申請書ハ一製造者カ二以上ノ煎熬場ニ涉リ法律第四十八號第四條第一項ノ納付鹽賠償金ヲ有スルトキハ併合シテ一通ニ調製スルコトヲ得但シ各煎熬場毎ノ納付

鹽ヲ區分シテ附記スルコトヲ要ス

三 第五號樣式ノ一第六號樣式第七號樣式ノ申請書ハ一製造者カ二棟以上ノ煎熬場ニ涉リ常ニ混同シテ製鹽作業ヲ行ヒ交付金ヲ下付スヘキ各物件ノ使用上ノ所屬ヲ區分シ難キ

モノハ一煎熬場ト認メ各號毎ニ關係數煎熬場ヲ併合シテ一通ニ調製スルコトヲ得

四 第五號樣式ノ一申請書ハ數煎熬場ニ屬スル製鹽地ノ所有者ヲ同フスル場合ニ其ノ製鹽

者中煎熬場又ハ採鹹地ヲ變更シテ製鹽シタル爲一煎熬場毎ニ其ノ納付鹽賠償金額ヲ區分スル能ハサルモ關係數煎熬場分ヲ併合スルトキハ法第三條ニ依リ其ノ價格ヲ定メ得

ル場合ハ關係煎熬場ヲ併合シテ一通ニ調製スルコトヲ得

製鹽地整理ハ曾テ前例ナキ特殊ノ事業ニ屬スルヲ以テ其ノ調査ノ方法及計畫ノ如キ先例ノ據テ以テ參考ニ供スヘキモノアルナク其ノ施設ハ一ニ獨創的考案ニ俟タサルヘカラス殊ニ製鹽狀態ノ多樣ニシテ其ノ方法ノ多岐ナル鹽田製鹽アリ海水直煮製鹽アリ或ハ鹹泉製鹽アリ枝條架製鹽

アリ又等シク鹽田製鹽ニモ入濱アリ揚濱アリ海水直煮製鹽ニモ直火煎熬ノモノアリ蒸汽力使用ノモノアリ純然タル企業的经营ノモノアルト同時ニ僅ニ自家勞働ヲ目的トセル副業の製鹽アリテ其ノ状態ノ均シカラサルト其ノ方法ノ同シカラサルトニ從ヒ其ノ調査事項ノ複雑ヲ要スル殆ト名狀スヘカラサルモノアリ此ノ如キ多様ナル事象ヲ統一シテ最精密ニ最公平ニ全国各地ヲ通シテ系統的調査ヲ遂ケ以テ完璧ノ成果ヲ求メムトス其ノ事業ノ容易ナラサルヤ言フ俟タズ特ニ本事業ハ營業者ノ利害ニ最緊切ナル關係ヲ有シ而モ調査物件ノ價額ノ如キ利害當面ノ關係者ト直接協議ニ依リ決セサルヘカラサルモノ多キモノアリ故ニ調査苟モ公平ヲ失シ粗漏ニ流レ又ハ折衝宜シキヲ失フアラムカ或ハ裁定ノ要求トナリ或ハ訴訟ノ提起トナリ施行上困難ナル問題ハ立ロニ紛起スルノ虞アリ是等困難ナル障害ヲ未然ニ防止シテ圓滿ナル終局ヲ期セムトセハ如何ナル方法ヲ採リ如何ナル順序計畫ニ依リ調査ヲ始終スヘキカハ調査ノ計畫上最苦心ヲ要シタル所ニシテ豫メ審議攻究ヲ盡シ之カ周到ヲ期シタリ

調査方法ニ二アリ調査物件全部ニ付一々詳細ニ調査ヲ遂クルハ其ノ一ナリ同一種類ノ物件多數アルモノハ其ノ標準トスヘキモノノ一ニ付詳細調査ヲ爲シ他ハ之ニ比較對照シテ調査スルニ止ムルハ其ノ一ナリ前者ハ最精細確のナルヲ得ヘシト雖頗ル時日ヲ要シ多大ノ手數ヲ費ササルヲ得スシテ調査費ヲ要スルコト多ク之ニ反シ後方ニ依ラムカ前方ノ如ク比較的精確ナラサルノ嫌アルモ大體ニ於テハ正鵠ヲ失ハスシテ時日ト手數トヲ省キ官民共ニ調査上ノ便益ヲ享クルコト却テ多キモノアリ依テ後方ヲ採用スルコトトシ先ツ多數同一物件中標準トスヘキモノニ付標準價額ヲ評決スルコトトシ同一物件少キモノニ限リ一々詳細調査スルニ止メ他ハ標準物件ニ對照比較シテ調書ヲ作成シ價格ヲ決定スルコトトナシタリ

調査ハ極テ複雑ニシテ又精密ヲ要スルモノアリト雖交付金ノ給付ニ關シテハ會計法規上ノ關係



アルヲ以テ其ノ年度内ニ之カ終局ヲ期セサルヘカラサルヲ以テ調査ノ進行課程ヲ豫定スルノ必要アリ即チ調査ヲ準備調査豫備調査本調査ノ三期ニ分チ先ツ五月初旬ヲ以テ關係出張所長ヲ各專賣支局ニ召集シテ調査ノ方針ヲ訓示シ同月中旬調査員ヲ指定シテ調査物件ニ對スル標準價格ノ評決ニ必要ナル資料ノ蒐集ニ從事セシメ六月初旬其ノ資料及調査上必要ノ書類ヲ携帶シテ支局管内ニ於テ豫メ指定セル主要産地ニ集會セシメ本局監督員亦之ニ參シ調査ニ關スル諸般ノ打合ヲ爲サシメ之カ統一ヲ圖ルト共ニ疑義ノ解決ヲ爲シ且實地ニ就キテ調査ノ演習ヲ遂ケ歸任後直ニ標準價格ヲ評決シ本局ニ送付シテ査閲ヲ求メ以テ準備調査ヲ終リ續テ六月中旬ヨリ九月末迄ノ間ヲ豫備調査ノ時期ニ充テ交付金見込額ヲ確定スルコトトシ其ノ期間ニ於テ專賣支局長ハ調査員ヲ指導シテ全部ニ涉リ詳細調査ヲ爲シ後日本調査ニ在リテハ豫備調査後ノ變更ニ付再調スレハ足レル迄ニ精査スルコトトシ本局ヨリハ別ニ監督員ヲ派シ實地ニ就キ其ノ調査ノ正否ヲ監査シ調査上ニ關シ遺算ナキコトヲ期シタリ斯クテ十月初旬鑑定人ノ選定ヲ終ヘ交付金下付申請書ノ受理ニ伴ヒ本調査ニ著手シ協議ヲ要スルモノハ協議ヲ爲シ鑑定人ヲ召集シテ鑑定ニ從事セシメ十一月中ニハ調査ヲ終了スルコトトシ其ノ期間ニ在リテモ更ニ本局監督員ヲシテ一切ノ取扱書類等ニ付監査ヲ爲シ本局提出後ニ於テ補正等ノ手數ヲ見ルカ如キコトナカラシメ十二月末日迄ニハ調査關係書類ヲ本局ニ進達セシムルコトト爲シタリ

斯クテ本局ニ在リテハ翌年一月ヨリ各支局提出ニ係ル調査關係書類ノ審査ヲ遂ケ鑑定ニ付シタルモノニアリテハ調査價格ト鑑定價格トヲ對照審査シテ其ノ價格ヲ決定シ之ヲ當該申請者ニ通知シ之ニ對シ異議ナキモノニ在リテハ直ニ交付金給付ノ手續ヲ爲シ年度内ニ全然完結スルノ計畫ヲ定メ兩年度整理トモ大體ニ於テ豫定ノ如ク遂行スルヲ得タリ

調査區域ハ之ヲ外ニシテハ製鹽地ノ狀態異同ノ關係アリ之ヲ内ニシテハ調査員及調査書類等ノ



關係アルヲ以テ鹽收納取扱ノ區域ニ依リ調査區域ヲ定ムルヲ至便ト認メ各出張所又ハ派出所區域ヲ一調査區ト爲シタリ然レトモ一調査區域中其ノ地域廣キモノ又ハ隔離セルモノニシテ製鹽狀態ノ一様ナラサルモノニ在リテハ調査上ノ便ヲ圖リ各別ニ標準價格ノ適用區域ヲ定ムルコトトシ明治四十三年度ニ在リテハ稍多數ノ標準區域ヲ設ケタル爲メ理論トシテハ適實正確ナルコトヲ得タルカ如キモ實際ノ成績トシテハ其ノ效果多カラサリシノミナラヌ偶以テ之カ適用等ニ關シ却テ混亂ヲ招キ頗ル煩累アリシヲ以テ同四十四年度ノ整理ニ方リテハ之ニ鑒ミ標準區域ハ成ルヘク之ヲ大局ノ異同ニ依リ區畫スルニ止メタリ

調査ノ精確ヲ期スルト同時ニ其ノ責任ヲ明ナラシムル爲メ調査員ヲ特定スルノ必要ヲ認メ一調査區域ニ於ケル調査物件ノ多寡調査區域ノ廣狹調査事項ノ難易等ニ由リ二名又ハ三名ヲ以テ一組トシ少クトモ其ノ中一名ハ支局在勤者ヲ以テ之ニ充ツルコトトシ其ノ他ノ者ヲ出張所又ハ派出所所在勤者中ヨリ指定シタリ而シテ調査ハ一調査區域ヲ通シ同一人ヲシテ之ニ當ラシムルコトトセリ是レ一面ニ於テハ當該支局各出張所間ニ於ケル調査ノ方針ヲ統一シ公平ヲ維持セムトスルノ意ニ外ナラス調査員ノ指定ト之カ人選トニ關シテハ最意ヲ用ヒサルヘカラサル所ナルモ鹽務ニ關スル常務少キ支局ニ在リテハ自ラ鹽務ニ堪能ナル人物ニ乏シキ爲メ之カ選定ニハ困難ヲ感シ殊ニ半ニシテ故障ヲ生シ補缺ヲ爲ス場合ニハ一層困難ヲ感シタリ抑調査事務ハ土地ニ建物ニ設備器具器械ニ其ノ事項極テ多方面ニ涉リ土地又ハ器械ノ如キ之カ價格ノ見積又ハ禁止後ノ利用用途及其ノ價格等ニ關シテハ或ハ土木水産農業又ハ器械學上ノ關係ヲ有シ又建物設備器具器械ノ如キ其ノ價格ノ見積又ハ禁止後ノ利用用途等ニ關シテハ或ハ大工左官石工屋根職等ニ關係アリ前者ハ専門的智識ヲ必要トシ後者ハ多方面ノ常識ヲ必要ト爲ス殊ニ直接當業者トノ交渉ニ又ハ鑑定人若ハ囑託員トノ折衝ニ對外的應酬ヲ必要トスル事項少カラサルヲ以テ之カ調査ハ



單ニ尋常算筆ニ長シタルノ故ヲ以テ之ヲ望ムヘカラス之カ人選ニ際シテハ其ノ人物、性質、伎倆等ニ深ク意ヲ用フルト同時ニ其ノ地方鹽業者トノ關係ヲモ考察セサルヘカラス然レトモ各地トモ緊要ナル常務ノ忽ニスヘカラサルモノアルヲ以テ鹽務ニ堪能ナルノ故ヲ以テ直ニ調査員ニ指定シ難キ事情アリテ明治四十三年度ノ如キ調査員ノ人線ニハ頗ル困難ヲ感セルモノアリ而シテ調査員ノ指定ハ支局長ヲシテ之ヲ指定セシメ其ノ年齢、技能、地位等ノ關係ヲ申報セシメ本局ニ於テ詮考ノ上不適當ト認メタルモノハ之ヲ改選セシメタリ

製鹽地ノ禁止後ニ於ケル利用及加工ノ方法、加工後ノ見込價格ノ如キ又ハ器械製鹽ニ使用セル設備器械類ノ見積價格又ハ其ノ禁止後ニ於ケル利用及其ノ價格ノ如キハ之カ認定ニ關シ土木、農業、水産又ハ工學上ニ關スル専門的智識ヲ要スルモノ多ク單ニ調査員ノ常識ノミニ依リ調査ヲ遂クルコトノ容易ナラサルモノアルヲ以テ之ニ關シ地方廳ニ於ケル相當技術者ノ意見ヲ求ムルハ獨リ調査ノ正鵠ヲ期スル所以ナルノミナラス又當業者ヲシテ整理ニ對スル政府ノ處置ニ信賴セシムル適當ノ方法ナルコトヲ認メタルヲ以テ調査著手ニ先チ關係府縣知事ニ協議シ每府縣二名内外ノ技術官ノ推薦ヲ求メ之ニ調査ヲ囑託シ標準價格ノ評決其ノ他調査上ニ付其ノ意見ヲ參酌シ調査ノ適實ヲ期スルコトト爲シタリ

調査ハ各專賣支局長ヲシテ自ラ之ニ當ラシムルコトトシ調査上ニ關スル方針及順序ヲ指示シ或ハ取扱心得、取扱手續等ヲ定メ詳細ノ準則ヲ示シタリト雖更ニ實地ニ於ケル調査ノ當否ヲ檢シ各地取扱ノ統一ヲ圖ルニ付十分ノ方法ヲ立ツルニ非サレハ豫定ノ效果ヲ得難キヲ以テ特ニ監督ノ方法ヲ定メ書面監督ト實地監督トノ二トシ前者ハ標準價格ノ決定、調査區域、調査員囑託員等ノ定メ方ニ付審査及承認ヲ爲スコト、鑑定人、鑑定區域ノ認可ヲ爲スコト、交付金見込額ニ於テ大體ノ制限ヲ爲スコト、價額協議ニ關スル金額ニ付一定ノ制限ヲ爲スコト、規程ノ解釋其ノ他調査方ノ指示

ヲ爲スコト及提出調査書類ニ對シ審査ヲ爲スコト等ノ如キ各支局調査事務施行上ノ要點ヲ適當ニ監督スルノ方針ヲ採リ後者ハ實地ニ臨ミ直接調査物件ニ就キ法規ノ適用價格ノ認定方ヲ監査シ各取扱官署ニ臨ミテハ調査ノ資料調査書類ヲ査閲シ又ハ調査ニ關スル執務ノ適否等苟モ整理事務ニ關スル事項ハ悉ク監査セシムルコトトシ各期調査毎ニ監督員ヲ出張セシメ監督ノ周到ヲ期シタリ

調査關係書類ノ審査ニ在リテハ本局ニ於テ製鹽地整理調査書類審査内規ヲ定メ之ニ依リ慎重審査スルコトトシタリ其ノ交付金申請件數ハ明治四十三年度ニ在リテハ鹽又ハ鹹水製造ニ對スルモノ九千六百七十九件製鹽地ニ對スルモノ七千三百九十件建物設備器具器械ニ對スルモノ二萬五千二百二十七件同四十四年度ニ在リテハ鹽又ハ鹹水製造ニ對スルモノ千百十二件製鹽地ニ對スルモノ千三百三十四件建物設備器具器械ニ對スルモノ三千五百三十六件ノ多キニ上リ建物設備器具器械ノ數ニ於テ兩年度分ヲ併セ一萬千六百餘棟十四萬六千七百餘箇ニ及ヒ製鹽地ニ在リテモ一件ノ申請ニシテ十數筆ノモノ少カラシテ其ノ審査件數ハ總數十八萬點ヲ下ラス是等物件ニ對スル申請書調査書鑑定書承諾書其ノ他關係附屬書類ハ一々形式ノ完否價額ノ當否算定ノ確否申請資格ノ有無及各書類ノ聯絡等審査對照シ其ノ正確ナルコトヲ確定シタル上鑑定ニ付シタルモノニ在リテハ其ノ價額ノ決定ヲ爲シタリ

價額ノ決定ハ明治四十三年度ニハ關係申請者五千百六十六人ニ同四十四年度ニハ同千九十八人ニ何レモ決定通知ヲ爲シタルニ明治四十四年度分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲シタルモノナカリシモ同四十三年度分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲シタルモノアリテ大藏大臣ハ直ニ再鑑定ニ付シ價額ヲ裁定シタルニ内三人ハ尙之ヲ不服トシ行政訴訟ヲ提起スルニ至リタリ右價額決定ノ内ニテ建物器具器械ニ在リテ鑑定ニ付シタルハ僅ニ申請者四人分ニ過キスシテ其ノ他ハ總テ價額ノ協議調ヒ別ニ價格決定ノ手續ヲ要セサリシモノトス斯クシテ交付金ハ價額ノ確定ニ伴ヒ直ニ給付



額ヲ調定シ各申請者ニ對シ給付ノ手續ヲ爲シタリ  
價格決定ニ對スル異議ノ申立ハ決定價額ヲ以テ不當ナリトナスノミナラス交付金ヲ下付セサル  
モノトシテ製鹽用物件ヲ除外シタル處分ヲモ不當ナリトシ裁定ヲ要求セシモ大藏大臣ハ其ノ價  
額ニ對シテハ鑑定人ヲ選定シテ意見ヲ徵シタリシニ決定價額ト同一ナリシヲ以テ專賣局長官決  
定ト同一價額ニ裁定シ併セテ專賣局長官カ製鹽用物件ニ對シ交付金ヲ下付スヘカラサルモノト  
シテ除外シタル處分ニ對シテハ異議ノ申立ヲ爲シ得サルモノトシテ其ノ申立ヲ却下シタリ然ル  
ニ異議申立者七人ノ内四人ハ之ニ承服スルニ至リタルモ餘ノ三人ハ遂ニ行政訴訟ヲ提起シタリ  
其ノ出訴ニ至リタルハ青森縣淺虫ニ於ケル製鹽關係者ニシテ交付金申請額四萬八千餘圓ニ對シ  
大藏大臣裁定額ハ八千餘圓ニ過キサリシヲ行政裁判所ニ在リテハ數回ノ口頭審問及實地檢證並  
鑑定等ヲ經テ一萬餘圓ニ判決シ二千餘圓ヲ増加給付スルニ至リタリ而シテ其ノ判決ニ依ルトキ  
ハ專賣局長官ノ除外處分ニ對スル不服申立ニ在リテモ法ノ趣旨ニ於テハ行政訴訟ヲ提起シ得ヘ  
キモノト爲シ專賣局ノ見解ヲ否認シタリ

### 第五款 交付金ノ給付並整理ノ結果

#### 交付金ノ給付

交付金給付額ハ鹽及鹹水製造者ニ對スルモノ二十二萬餘圓製鹽地所有者ニ對スルモノ二百七萬  
餘圓建物設備器具器械所有者ニ對スルモノ三十八萬餘圓合計二百六十八萬四千三百六十九圓十  
錢ニシテ明治四十三年度ニ在リテハ一萬三千五百四十五人ニ對スル給付額百三十六萬六千七百  
十五圓二十一錢ニシテ平均一人當百圓九十錢ニ止マリシモ同四十四年度ニ在リテハ千七百七十  
三人ニ對スル給付額百三十一萬七千六百五十三圓八十九錢ニシテ平均一人當七百四十三圓十七  
錢ニ上レリ此ノ如ク兩年度ニ於テ一人當平均額ニ多大ノ懸隔アリシハ全ク製鹽狀態ノ相異ニシ